



札幌市自立支援協議会就労支援推進部会

発行日:令和4年3月31日

札幌の障がい者就労支援の最前線をお伝えする

さぽナナ

札幌市から観た藻岩山

6/4 定例会

令和2年度はコロナ禍の影響により中止となりました。定例会・学習会は令和3年度についてはオンライン形式で6月4日(金)に行われ、90名近くの方々にご参加いただきました。

定例会後の学習会では「新型コロナウイルス影響下での就労支援」をテーマに、NPO法人東松山就労支援センター 就労支援センターZACK 萩谷浩史氏、NPO法人福岡ジョブサポート石井浩明氏を招きましてzoomにての講演、グループワークを行いました。

参加された方も各地域のコロナ禍の状況や対応等を学ぶ機会となり、大変参考になったとのご意見を多数いただきました。コロナ禍は現在も続いているますが、当部会では今後も学習会等の開催を予定しております。コロナ禍の影響が継続し、様々な制限等がありますが、人と人が繋がり、研鑽し合うきっかけを今後も継続して活動していきたいと思いますので、是非、部会へのご協力・ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

文／とねっと 重泉

年間日程

6月

就労支援推進部会定例会
さぽコン第1回目

7月

コロナ禍における事業所運営についての
情報交換会

10/29

発達障がいの傾向がある
大学生・専門学生の就労支援
ワークショップ

発達障がいの傾向がある大学生・専門学生の就労支援ワークショップをオンライン形式で開催致しました。大学・専門学校の教職員の方々（学生相談室の相談員、就労支援や日々の学生支援に関わる方々）が30名ほど参加され、“就労に向けた学内支援”をテーマに学び合いました。前半は、札幌学院大学学生相談室の相談員さんより、特性に応じた学生への支援や学内連携についてのお話を頂き、後半は就労支援推進部会のメンバーから就労支援に関わる社会資源のご紹介をしました。参加された方々からは「すごく参考になった」といった感想が多く聞かれました。発達障害の学生の就労支援は、学生さんそれぞれの経緯があり、すぐに必要な就労支援に結びつかない、というケースも少なくないと思います。私たちも、少し長期的な視点において支援体制が整っていけば…と考えておりますし、目指すための一つとして、来年度以降も本研修を開催できたらと考えております。

文／おがる 塚本

8月

10月

2月

さぽコン第2回目

発達障がいの傾向がある大学生・専門学生の
就労支援ワークショップ

JC-NET 就労支援基礎セミナー

7/29

コロナ禍における事業所 運営についての情報交換会

新型コロナウィルス感染症の流行が続く7月末。管理者、サビ管等の事業所運営を行っている方を対象に、情報交換会が開かれました。

当日は、利用者さんの陽性者対応を行った2事業所の方から、詳細な経過報告とその対応について情報提供いただき、その後グループワークにおいて各事業所における感染対策や疑問点について話し合いました。参加者の方からは「求められる対応について知ることができた」「濃厚な情報交換ができる具体的な対策をイメージできた」「ネガティブな状況下で同じことに悩んでいる仲間が沢山いて前向きになれた」と多くの運営者の方に喜んで頂けました。

感染流行が始まってから2年弱。各事業所が利用者様の安全を守るために試行錯誤が続いている。福祉サービスの質を担保するためには、運営者、支援スタッフが共に元気になり、身近なネットワークにて情報共有しあい、対策を講じていく事が大切であると改めて感じる機会となりました。

文／ぱすとらる 横井

2/16

JC-NET 就労支援基礎 セミナー開催報告

2月16日にJC-NET 就労支援基礎セミナーを開催しました。札幌市では過去にJC-NETとの共催で実践的な就労支援の研修を行ってまいりました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、数年間セミナーを開催することができませんでしたが、今回、オンラインでのセミナーを開催することができました。

セミナーでは「キーノートスピーチ」「就労支援プロセスと障がいのある人のアセスメント」「職場のアセスメントとジョブマッチング」というお話を講師の方から行っていただき、講義の合間にグループワークを行いました。

オンラインではありましたが、就労支援プロセスについて学び、障がいのある方が社会の中で働くということを考えることのできるセミナーだったと思います。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、より実践的な就労支援のセミナーを開催できたらと実行委員一同心待ちしております。

文／とねっと 大野

事業所さんぽ

就労移行支援事業所クロスジョブ札幌

■法人理念

希望と約束を大切に、日々の支援を振り返り高め合い、障害のある方が企業で働く未来に貢献します!

■スタッフ

7名(精神保健福祉士、社会福祉士、作業療法士等)

■定員

20名

■プログラム

施設内訓練(パソコン、学習、軽作業、事務補助、グループワークなど)

施設外就労(洗濯代行業務)

企業見学・実習

就活準備(応募書類の作成、面接練習等など)

復職支援(高次脳機能障害の方の支援実績あり)

★訓練と面談を組み合わせて、『自己整理』

と『働き続けるための力づくり』をサポート



★ 住所: 札幌市中央区北1条西3丁目3-41

マルイト時計台前ビル8階

TEL: 011-596-0622 / FAX: 011-596-0623

相談対応時間: 平日9:00~17:00 / 土日祝休み

■メッセージ

2017年4月に時計台の近くに開所した事業所です。

幅広い訓練メニューと企業見学や実習、定期的な面談を通して、「自分を知る」「相手に自分の気持ちを上手に伝える」「気持ちやストレスのコントロールをする」などの力をつけていただけるような支援をしています。

定期的に開催している『高次脳機能障害の方のグループワーク』は、利用者以外の方の参加も可能です。ご本人、ご家族、支援機関の方、医療機関の方のご参加もお待ちしています!

また、NPO法人として、働きたい方と障害者雇用に取り組む企業様との橋渡しを行い、NPO会員の皆様や地域の皆様と一緒に『働きたい誰もが働き続けることができる地域』を目指して頑張っています。

ホームページには『利用者日記』や『スタッフの1日』のページに、日々の取り組みを発信しています。見学・体験利用も随時受け付けております。ぜひお気軽にご相談ください。

<http://www.crossjob.or.jp/>



札幌市情報

元気カフェ

「元気カフェ」は、多くの市民が訪れる公共施設等の空間を生かし、障がいのある方が接客等を通じてさまざまな方と交流することで、障がいに対する市民の理解促進につなげていくことや、障がいのある方が生き生きと働く姿を見てもらうことにより、民間企業等における障がい者雇用の促進を図ることを目的とするものです。お近くへお立ち寄りの際に、ぜひご利用ください。



元気カフェ宮田屋

● 中央区北1条西2丁目 札幌市役所1階ロビー

元気カフェ本の森

● 中央区南22条西13丁目 札幌市中央図書館1階ロビー

元気カフェプラン

● 白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎1階

元気カフェふらっと

● 中央区大通西19丁目

札幌市社会福祉総合センター1階ロビー

さぼコンについて

昨年度は開催できませんでしたが、今年度はオンラインで2回に渡り開催しました。

さぼコンは就労支援の経験が3年未満の支援者同士が横の繋がりを作ることを目的の1つとしていますが、オンラインで実施することで繋がりを持ちにくいという課題がありました。そのため参加者の皆様に事前に名刺と事業所のパンフレットのデータをお送りし、お互いの事業所について知り、連絡先が分かる関係づくりが出来る様にしました。

また、1回目は事業所紹介や参加者の方が話したい、聞きたい内容を話せる時間として、2回目

は事例検討として抱えている悩みや今後の支援に生かせるヒントを少しでも得たり、その話しの中で関心がある取り組みがあればお互いに連絡を取り合ってもらえばと企画しました。

6月28日に開催した1回目には17名の方が、8月26日に開催した2回目には21名の方が参加してくださいました。オンラインだからこそ気軽に参加できるメリットもあったように思われますが、来年度は集まっての開催ができる事を願っています。

文／荒井



さっぽろ市
02-F04-22-710
R4-2-548

SAPP_RO